中学校便印

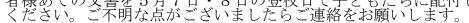
令和2年5月1日(金) No2 文責 藤島浩一

新型コロナウイルス感染症拡大防止 に向けた臨時休業を延長します。



くっつかないモン

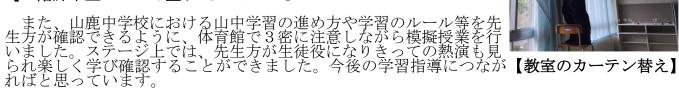
新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた学校の臨時休業を5月7日から5月31日までの期間延長します。 臨時校長会議が開催され、山鹿市教育委員会としての判断を伝えられました。県教委の意向を受け、県下一斉で同じ方向を向いて取り組むことから臨時休業の延長を判断されました。また、今回、臨時休業の延長は、新型コロナウイルス感染症に打ち勝つための休業であり、子どもたちの命を守ること。また、安心、安全な生活を取り戻すためであることから力を合わせて頑張っていこう。とお話がありました。委員会の判断を受けて、山鹿中学校としての取組については、5月31日まで臨時休業を延長し、1週間に1回の登校日を設定(3窓への対策を講じて)し、健康観察や学力保障対策を行います。なお、詳しくは、保護者様あての文書を5月7日・8日の登校日で子どもたちに配付しますのでご覧ください。ご不明な点がございましたらご連絡をお願いします。





手を洗うモン







【教室前壁のペンキ塗り】







マテージ上での熱演の様子】【指導のポイントを確認中】

ステージ上での熱演の様子】【指導のポイントを確認中】

のも立ち止まって行っいます。校門で一礼をすることで気持ちを変切したから等をの会達に感謝したりする思いにつながればと思って下います。。文とした姿勢ででは自立の一歩を踏み出していると実感していまます。下校時にいる」と一緒に冷ばいですねったのの一歩を踏み出しています。「大持のリズムが乱ればという思いが感じられました。 3人は、臨時休業中の生活を「生活のリズムが乱ればという思いが感じられると自己分析をしていました。やり取りの中では、生活を改善しなければという思いが感じられる自己分析をしていました。やり取りの中では、生活が必要しなければという思いが感じられるしたところです。なによりも素直に日々の生活状況を話してくれたことに嬉しく思いましを心したところです。なによりは対しています。

登校日に再び会えることを楽しみにしています。